

認定番号
ENNNUN-0714
ENNNUN-0728
ENNNUN-0742

定期検査における検査項目、方法、判定基準
(1)性能評価の条件となる装置・部品の検査方法

部品名	定期検査項目	検査内容	判定基準
巻上機	油漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ・制動面への油の付着はないか ・グリース排出口からの流出はないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記に油がないこと ・グリースの流出がないこと
エプロン	外観、長さ	<ul style="list-style-type: none"> ・破損していないか ・著しい変形はないか ・長さが規定寸法通りか 	<ul style="list-style-type: none"> ・破損していないか ・著しい変形がないこと ・750mm以上であること

(2)性能評価範囲の装置・部品の検査の方法

部品名	定期検査項目	検査内容	判定基準
ブレーキ	パッド厚み	パッドの厚み直接測定	パッドの厚みが規定値以上あること KTM-85の場合、4.0mm KTM-130,190の場合、5.0mm
	制動力	両側ブレーキによる無負荷上昇(微速)時のかご制止距離測定	<ul style="list-style-type: none"> ・規定距離(150mm)以内に停止すること ・年次変化量が規定値(20mm)以内であること ・年次変化量から来年予想される停止距離が、規定値を超える恐れがないことを確認する
ブレーキ動作感知スイッチ	動作確認	開放、締結時の接点信号の動作チェック	ブレーキの開閉と接点の開閉が確実に行われること
特定距離感知装置	動作位置	動作位置の測定	着床±75mmで動作すること
安全制御プログラム	形式	安全制御プログラムが搭載されたPLCの型式チェック	大臣認定を受けたものと同じであること 型式 CP1L-M40DT-D
	動作確認	特定距離範囲外での模擬戸開走行試験	戸開走行保護装置が作動し、電動機及びブレーキの励磁コイルが電源から遮断されること

上記以外は、平成20年国土交通省告示283号による

(3)UCMPを構成する各装置の点検方法・交換基準を以下のように定めます

名称	検査項目		検査方法	判定基準(注1)
電磁接触器 (S1 S2 BD BD1 MD)	S1 S2	動作	目視	良否
		寿命	Sカウンタ読取または稼働年数	50万回以下 または10年以下 一日1回自動で遮断されていることをカウンタの値から読み取る(注2)
	BD BD1	動作	目視	良否
		寿命	BDカウンタ読取または稼働年数	50万回以下 または5年以下
	MD	動作	目視	良否
		寿命	BDカウンタ読取または稼働年数	10万回以下 または5年以下
かご戸感知装置	動作、接点の状態		目視	良否
	戸の全閉 位置からの距離	2S 3S	測定	15mm以下
		CO 4CO	測定	20mm以下
		2U 3U	測定	46mm以下
	寿命		GLカウンタ読取り稼働年数	150万回以下 または15年以下
各階乗場のドアインターロックスイッチ	動作、接点の状態		目視	良否
	戸閉時フックのかかり代		測定	7mm以上
特定距離感知装置	スイッチDZ1	動作	目視	床位置±75mmで動作すること
		寿命	使用年数	10年以下
	スイッチDZ2	動作	目視	床位置±75mmで動作すること
		寿命	使用年数	10年以下
巻上機	ブレーキパッド	ブレーキパッドの摩耗	パッドの厚みの測定	KTM-85は4.0mm以上、KTM-130,190は5.0mm以上
	ブレーキ動作感知スイッチBKS1	取付状態	目視	良否
		寿命	BDカウンタ読取	50万回以下 または10年以下
	ブレーキ動作感知スイッチBKS2	取付状態	目視	良否
		寿命	BDカウンタ読取	50万回以下 または10年以下
	かごつま先保護板		形状・支持	目視・測定
システムの機能検査		動作	模擬戸開走行試験	かごが制止すること
論理判定装置用 PLCユニット	PLC本体	寿命	使用年数の確認	10年以下
	メモリバックアップ電池	寿命	使用年数	5年以下
		動作	目視	バッテリーアラームLED点滅確認、点滅ありの場合は交換

(注1)各機器は、次の定期検査までに、寿命に達する恐れがある場合には交換を行う

(注2)電磁接触器S1,S2は、1日1回自動で遮断し、接点の溶着がないことを確認している

認定番号

ENNNUN-0714 KTM-85

ENNNUN-0728 KTM-130

ENNNUN-0724 KTM-190

1. ブレーキライニングの検査

型式	初期値:T			要是正:T	
		2003/12~	2005/4~		2005/8~
KTM-85	8mm	6mm	6mm	6mm	4.0mm
KTM-130	8mm	8mm	8mm	8mm	5.0mm
KTM-190	9mm	9mm	10mm	8mm	5.0mm

(注1)ライニングの厚みは、生産の時期により違うものがあります

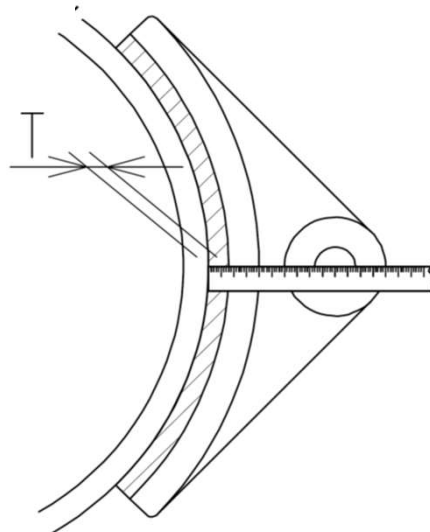
(注2)「ブレーキパッドの厚さの状況」については、次回検査までに「要是正の厚さ」

となる恐れがある場合には、「要是正」として判定すること

ポールテンジモーターの場合、要是正:Tの1.2倍が目安

インバーターモーターの場合、要是正:Tの1.1倍が目安

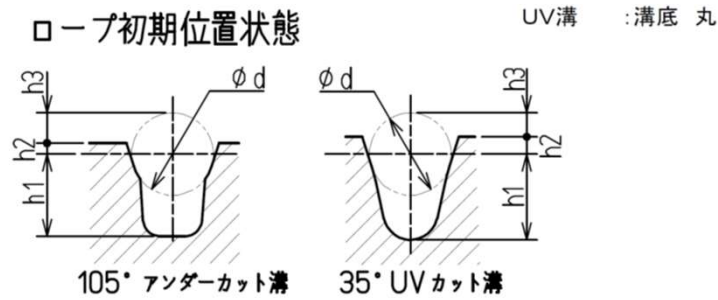
(注3)ライニングの残存厚みは、単体での限度厚みであり、この厚みまで無調整でよいというものではありません。ドラムとライニングの隙間をチェックして必要に応じて調整すること



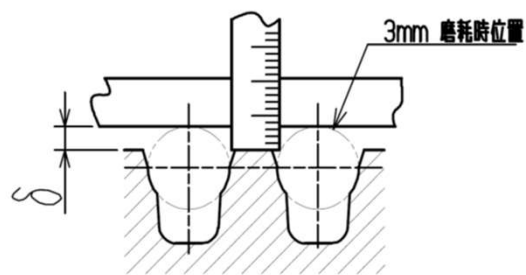
2. プランジャーストロークの測定

KTM-85,130,190型は、脆弱なブレーキに該当しないのでプランジャーストロークを測定する必要はありません

3.メインシーブロープ溝の検査

測定寸法 δ が規定値になったら交換してください

溝磨耗量測定方法



ロープ径(d)		h1	h2	h3	δ
$\phi 10$	105° アンダーカット溝	10.0	1.6	3.4	0.4
	35° UVカット溝	—	—	—	—
$\phi 12$	105° アンダーカット溝	12.0	1.6	4.4	1.4
	35° UVカット溝	12.5	2.5	3.5	0.5
$\phi 14$	105° アンダーカット溝	14.0	1.6	5.4	2.4
	35° UVカット溝	14.0	3.0	4.0	1.0
$\phi 16$	105° アンダーカット溝	16.0	1.6	6.4	3.4
	35° UVカット溝	16.0	4.0	4.0	1.0
$\phi 18$	105° アンダーカット溝	18.0	1.6	7.4	4.4
	35° UVカット溝	18.0	4.0	5.0	2.0
$\phi 20$	105° アンダーカット溝	20.0	4.0	6.0	3.0
	35° UVカット溝	20.0	4.0	6.0	3.0